

## 令和6年度 県立土浦第一高等学校自己評価表

| 目指す学校像               | 項目                                    | 詳細  |  |      |
|----------------------|---------------------------------------|---|--|------|
|                      | 生徒                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを理解し、人格形成を図り、自主的に多方面の知識と体験に触れ、物事について構造的に考え表現できる総合的な成長を目指す。</li> <li>・自己肯定感を持って主体的に行動し、思いやりを持って協働し、多様性を認め国際的視野を持てるような成長を目指す。</li> </ul>   |  |      |
|                      | 教員                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら仕事の効率化を図り、余裕を持ち職場や仕事の内容における改善を行うことで、WLBの向上を目指す。</li> <li>・常にリスキングを行うことで、自身の成長から自己肯定感を強めて、得られた知識を同僚及び生徒に還元することを目指す。</li> </ul>   |  |      |
|                      | 学校                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内教育のロールモデルとなる、日本一の学校を目指す。</li> <li>・整理整頓が行き届き、生徒が積極的に学べる場所、楽しく、安心して、やるべきことに集中できる場所を目指す。</li> <li>・プロセス、ガバナンス、危機管理、いじめ対応などについて徹底的な管理を目指す。</li> </ul>  |  |      |
|                      | 連携                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、同窓生、地域、国内外の教育機関などとの連携を強化し、より良いより強い教育基盤の構築を目指す。</li> </ul>   |  |      |
| 三つの方針                |                                       | 具体的目標   |  |      |
| 三つの方針<br>(スクールポリシー)  | 入学者の受入れに関する方針<br>(アドミッション・ポリシー)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・志及び好奇心があって、何事にも興味関心を持ち、自ら考え、行動できる生徒。</li> <li>・自己分析、自己管理、時間の管理、健康管理について常に意識する生徒。</li> <li>・自己の適性について考えることができ、その能力を存分に生かしたいと考える生徒。</li> </ul>  |  |      |
|                      | 教育課程の編成及び実施に関する方針<br>(カリキュラム・ポリシー)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫を生かした質の高い授業及び考査を実施し、主体的な学習態度を育成する。</li> <li>・特別活動や学校行事を推進し、自主、協働、感謝の精神を育成する。</li> <li>・主体的に行動しながらも、協働の価値を理解し、多様な考え方を受け入れる国際的視野を育成する。</li> <li>・自己管理、時間の管理、健康・食事・睡眠の管理について定期的に啓発し、常に高い意識を持って生活できるように支援する。</li> <li>・キャリア教育、探究教育、多言語教育、グローバル教育などを含めた総合的教育のさらなる深化を図る。</li> </ul> |  |      |
|                      | 育成を目指す資質・能力に関する方針<br>(グラデュエーション・ポリシー) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らを分析・理解し、高い目標を持ち、妥協のない進路が選択できること。</li> <li>・人格形成を通じて、自己肯定感を持ち、あらゆる場面でスマートに対応できること。</li> <li>・本校を卒業して広い世界に出た時に自分に自信を持てるようにすること。</li> <li>・土ーネットワークを最大限に活用し、様々なことに挑戦できること。</li> </ul>  |  |      |
| 昨年度の成果と課題            |                                       | 重点項目  | 重点目標   | 達成状況 |
| 高度で難易度の高い学習内容に対応すべく、 |                                       | 高い志 (=信念・厚意) の育成  | ① 高い「志」を持ち、常に前向きに努力し続けることにより、自分の進路を自ら切り拓いていく態度を育成する。 | A    |

別紙様式 2 (高)

|  |                                     |  |          |
|--|-------------------------------------|--|----------|
| <p>主体的な学習スタイルを目指し、深い理解につなげている。O B O Gを活用した進路指導など、生徒自身の将来の希望を実現すべき様々な取組を実施している。その結果、多くの大学合格などの成果を挙げ、生徒の進路実現をかなえている。</p> |                                     | <p>② 生徒の自己理解を促し、高い目標設定と絶え間ない努力ができるよう、個別面談の充実を図る。<br/>         ③ 将来において、各界でのリーダーを目指すべく、各個人の可能性を伸ばせるように支援する。<br/>         ④ 学びのプロセスを記述するキャリアパスポートの活用、キャリア教育、進路支援などを通じて生徒が自ら進路を拓く。</p>  |          |
| <p>一方、自信をなくしてしまう生徒もあり、ICT等の活用を含め、学習のサポート体制の充実が必要である。</p>   | <p>自己理解による主体的学習態度の育成</p>            | <p>⑤ 授業に対する意欲と理解を高め、自主的・積極的な学習態度を育成する。<br/>         ⑥ しっかりしたタイムマネジメントと主体的に学ぶ姿勢を育て、効果的な学習活動を支援する。</p>   | <p>A</p> |
| <p>また、働き方改革の取り組みとして、授業改善、考査や採点の在り方の工夫、外部指導者の導入など新しい取り組みも必要とされている。</p>  | <p>授業改善 (AL 型授業展開等) による生徒の理解度向上</p> | <p>⑦ 指導法の研究を各教科で行い、深い学びの場の提供に努める。各授業において導入～授業～再確認という流れを作る。<br/>         ⑧ 研究授業の開催、相互授業参観、先進校視察や校内研修会を通して、授業改善及び指導力向上を図る。<br/>         ⑨ 生徒による授業満足度 3.2 以上を目指す。</p>   | <p>A</p> |
|  | <p>豊かな人間性の涵養による心理的安心の向上</p>         | <p>⑩ 基本的な生活習慣の確立に努めるとともに、部活動や委員会活動への積極的な参加を促す。<br/>         ⑪ いじめを許さない心や、他者を思いやる心の育成により、豊かな人間関係づくりを図る。<br/>         ⑫ 個別面談や教育相談を充実させ、生徒の悩みや問題の解決に向け支援する。</p>   | <p>A</p> |
|  | <p>探究活動・他校交流・大会参加等を通じて自己肯定感の向上</p>  | <p>⑬ 普通・DX 探究活動を強く推進し、課題発見能力、課題分析、課題解決能力の育成を図る。<br/>         ⑭ 自ら調べ、考え、発表する 姿勢を育て、主体的、対話的な深い学びにつなげる。<br/>         ⑮ 世界に通用する人材育成ができるよう、コミュニケーション能力、英語による発信力強化を図る。<br/>         ⑯ 国内外の大会、模擬国連などに積極的に参加し、グローバルな視野の育成を図る。<br/>         ⑰ 国内外の有識者による講演会、様々な背景を持つ生徒との交流などを積極的に行い、生徒の自信育成につなげる。</p> | <p>A</p> |
|  | <p>学校情報の積極的発信と保護者・同窓生・地域との連携</p>    | <p>⑱ 学校の情報を積極的に発信するために学校ホームページや学校通信等を充実させ、本校の魅力を伝える機会を増やす。<br/>         ⑲ 地域とのコミュニケーションやふれあいの機会を大切に、小中学校や近隣の方との交流を図る。</p>  | <p>A</p> |
|  | <p>中学生と高校生の積極的交流の推進</p>             | <p>⑳ 授業・部活動・探究学習などの内容を段階的に身に付けられるよう、効率的な連携を工夫する。<br/>         ㉑ 附属中において人格形成、課外活動、言語能力などに重みをおき、総合的な学びを図り、高校での学びの基礎とする。</p>  | <p>A</p> |
|  | <p>ICT 機器の活用などによる効果的授業の実現</p>       | <p>㉒ 情報 (ICT) 教育の強化及び ICT 機器の効果的な活用を通じて、生徒の学習理解を幅広くサポートする。</p>   | <p>A</p> |

別紙様式2 (高)

|   |  |  | ②③授業改善を考える手立てとして、先進的な事例紹介等の機会を増やし、研修の充実を図る。  |   |   |
|---|--|--|--|---|---|
|   | 働き方改革の推進による WLB 向上                             |  | ②④学習指導等の質の向上を図りつつ、業務の効率化を進める取組を推進し、職員の負担軽減、環境改善を図る。<br>②⑤在校時間の自己管理や休暇が取得しやすい環境づくりを推進し、働き方の意識向上に努める。<br>②⑥衛生委員会等で超過勤務・ストレス等を把握し、課題の改善・解決に向けて取り組む。 |   | B   |
| 評価項目  | 具体的目標  | 具体的方策  | 評価   |   | 次年度(学期)への主な課題   |
| 教務部   | 対話的で深い学びを可能にする授業を展開するための支援を充実させる。              | 授業の相互参観を推進し、授業改善、指導力向上の研修機会を増やす。<br>⑤⑥⑦⑧⑨②③  | A  | A | 1. 授業変更を減らす取り組み(仕事内容の見直し等)。<br>2. 附属中、定時制との連携強化(共通で準備できることは共通で)<br>3. R6 から継続して内規の訂正(1/3適用の見直し、選択科目の最小実施人数)<br>4. アンケートの厳選(他校務分掌との連携)<br>5. 年度初め業務の簡素化(職員写真廃止等) |
|   |  | 定期考査や実力考査、及び校内模試の問題検討会の実施を推進する。<br>⑤⑥⑦⑧⑨   | A  |   |   |
|   | 新教育課程及び大学入試改革に適應した教育活動の推進。                     | 新教育課程・単位制導入を踏まえ、生徒の能動的な学習活動の促進に向けて研究を進める。<br>① ②③④②③                                       | A  |   |   |
|   |  | 医学コース、探究学習、特別活動等の教育活動が円滑・活発に行われるよう、校務の運営を行う。<br>⑬⑭⑮⑯⑰                                      | A  |   |   |
|   | 中学校と高校の連携を図る。                                  | 小中学生・地域社会に対して本校の魅力を伝える機会を推進する。<br>⑱⑲⑳㉑   | B  |   |   |
|   |  | 中高の教員間の連携を深め、学習活動・進路選択などにおける効果的な活動を推進する。<br>⑳㉑   | A  |   |   |
|   | 生徒の実態を踏まえた人権教育の推進を図る。                          | 人権感覚や人権意識を育み、人権擁護の意識を高める教育の実践を支援する。<br>⑩⑪⑫   | B  |   |   |
| 教育活動全体を通して人権尊重の精神を養い、生徒の人権意識を育成するために必要な総合的資質・能力を高めることを目的とした職員研修を企画、実行する。<br>⑩⑪⑫ |  | B  |  |   |   |
| 働き方改革の推進による WLB 向上  | 教務部の業務内容を見直し、組織編成を改革する。教務部員の負担軽減、環境改善を図る<br>②④ | A  |  |   |   |
| 渉外部   | 家庭、地域社会と学校の連携を深め、協力体制を確立する。                    | 各学年後援会と学年との協力体制を強化し、充実した高校生を支える。<br>⑱  | A  | A | ・会費変更など臨機な対応を継続していく。  |
|   |  | PTA 行事への参加を呼びかけ、PTA 行事を活性化する。<br>①③  | A  |   | ・目標設定など再検討する。   |
| 生徒指導部   | 自ら考え、自ら動く姿勢を育成する。                              | 校則の在り方や SNS の適切な活用法などについて生徒自身で考え、基本的な生活習慣を自律的に確立させると共に、いじめのない健全な学校生活を送ることができるよう支援する。<br>⑩⑪ | A  | A | ・生徒自身による自己管理・自治の意識を高める  |
|   |  | 交通ルールを遵守し、適切な交通マナーを実践できるよう指導すると共に、保護者や地域の方とも連携し、適宜見守り活動を行い、交通事故のない安全通学環境を整える。<br>⑩⑱        | A  |   | ・ヘルメットの着用率の向上   |

別紙様式 2 (高)

|       |                             |  |   |   |  |  |
|-------|-----------------------------|--|---|---|--|--|
|       | 生徒の実態をよく把握し、生徒の自発的な活動を支援する。 | 学年・部活動・委員会・分掌間の連携を密にし、生徒の実態把握に努める。 ⑥   | B |   |  | ・情報・論点の共有  |
|       |                             | 生徒の発想や創意を活かすべく、学校行事運営や部活動を支援する。 ③⑱   | A |   |  | ・教員と生徒の更なる連携   |
|       |                             | キャリアパスポートの作成及び積極的な活用を行う。 ④   | B |   |  | ・HR担任との情報共有  |
|       |                             | 円滑な課外活動が行えるよう、行事及び部活動に関する諸規定を見直す。 ㉔  | B |   |  | ・年度を跨ぎ継続的に行う   |
|       | 附属中学校と連携した教育活動の充実を図る。       | 中・高職員が連携して、登下校時の交通指導を行う。 ㉒   | A |   |  | ・交通事故ゼロを目指す  |
|       |                             | 中・高が一体となった行事運営や生徒会活動が行えるよう支援する。 ㉒  | A |   |  | ・気候変動等も勘案し、行事の在り方を再点検する  |
| 教育相談室 | 教育相談体制を確立する。                | 教育相談室の広報に努めるとともに、生徒や保護者が相談しやすい環境や体制を整える。 ②⑱  | A | A |  | ・SCの先生がSSWも兼ねており、相談時間を30時間増やし、多くの生徒を継続的に支援できた。次年度も県に要請し、相談体制を充実させたい。 |
|       |                             | 各学年や各校務分掌、SC、SSWと連携し、生徒の悩みや問題の解決に向け支援する。 ③⑥⑪⑫  | A |   |  | ・SCの先生がSSWも兼ねており、相談時間を30時間増やし、多くの生徒を継続的に支援できた。次年度も県に要請し、相談体制を充実させたい。 |
| 保健厚生部 | 安全で衛生的な生活環境を整備する。           | 清掃計画を作成し、生活環境が衛生的に保たれるよう分担区清掃を責任をもって実施する。 ③⑩   | A | A |  | ・来年度は校舍改築が予定されているため、弾力的に清掃活動ができるようにする。                               |
|       |                             | 校内の環境を安全・清潔に保つために定期的に安全点検を行い安心して生活できる環境を整える。 ③   | A |   |  | ・学校行事を考慮して実施する。  |
|       |                             | 避難訓練を実施し、防災力の向上に努める。 ⑩   | A |   |  | ・性教育講演会を、現代の指導に沿った内容で検討する。   |
|       | 生徒の健康管理を支援する。               | 検診機関等が行う活動の準備・実施・事後措置に対し、協力・指導する。 ③⑩   | A |   |  |  |
|       |                             | 自他の生命尊重を基盤とした健全な倫理観を育み、将来の実りある自己実現に向け、性教育に関する保健指導を実施する。 ⑪⑫                                     | A |   |  |  |
| 進路指導部 | 各学年や教科の学習指導を支援する。           | 効果的な個別指導を行うため、学年と共同で生徒の家庭学習実態を把握し学級担任を支援する。 ⑤⑥⑦  | B | A |  | ・家庭での学習方法や基本的な生活習慣の指導。   |
|       |                             | 生徒の進路希望に即した授業や考査の水準を維持するため、教科担当が外部の研究会に積極的に参加するよう呼びかける。また各教科での考査問題検討をすすめ、学校全体として作問力の向上に努める。 ⑦⑳ | B |   |  | ・予備校の教員研修や入試検討会へ参加するようさらに積極的に呼びかける                                   |
|       | 生徒が高い目標をもち、自らの進路希望を実現できる    | 将来の生き方や生活、進路や職業について考えるための学年行事を支援する。また、HPで講演会等の進路関係行事の状況を発信し、保護者との連携に努める。 ①②③④                  | A |   |  | ・高い進路希望実現を目指す生徒の状況をふまえて、   |

別紙様式2 (高)

|          |                                      |   |   |   |   |
|----------|--------------------------------------|---|---|---|---|
|          | よう支援する。                              | 生徒が自分の将来をデザインするための資料や図書の提示・充実に努める。 ①②④  | B |   | 学年団や教科に質の高い情報提供と資料の補充を行う。                                   |
|          |                                      | 進路情報交換会を開き、進路指導に関する課題の発見、その解決、指導法の改善に努め、教職員集団の共通理解に基づいた指導を推進する。そのため、学年との緊密な連携を図る。 ①⑥⑦ | A |   |   |
|          | 適切な進路情報の提供に努め、生徒が自らの将来をデザインできるようにする。 | 生徒が志望校を検討する資料として、進学要覧・合格体験記を作成し、生徒面談等への活用を図る。 ①②④                                     | A |   |   |
|          |                                      | 生徒や学年の状況に応じて適切な進路情報を提供し、生徒と保護者が進路について共通の認識をもつことができるよう支援する。 ①③                         | A |   |   |
| 図書視聴覚部   | 授業の展開に対応した資料を充実させる。                  | 各教科を対象に購入希望図書の調査をし、蔵書の充実に努める。 ⑤⑥  | A | A | ・図書を購入費や書架の不足が深刻である   |
|          |                                      | 蔵書の効率的利用のため、コンピュータによる蔵書管理を行う。 ⑥⑭  | A |   |   |
|          | 読書・作品鑑賞等を通して教養を深め、豊かな人間性を養う。         | 生徒の教養や人間性を高めるにふさわしい資料を精選し、継続的に収集してゆく。 ③⑭  | A |   | ・図書を購入費や書架の不足が深刻である   |
|          |                                      | 生徒の読書意欲を喚起するための情報発信や図書の配置の工夫を行う。 ③⑥⑭  | B |   | ・書架が購入できないため、図書の配置のデザインも停滞している状況である                         |
|          |                                      | 生徒の読書生活を高めるための企画等を工夫する。 ⑥⑭  | A |   | ・放送室の機材とマニュアルの整備が必要である                                      |
|          | 授業及び自主学習の場として、利便性・快適性を高める。           | 図書館・視聴覚室の美化に努め、利用マナーの遵守について指導する。 ⑥⑩   | A |   | ・図書館の机と椅子が不足しているため、授業ができない状況である                             |
|          |                                      | 課外授業等の授業の場として視聴覚室を開放する。 ⑤⑥  | A |   | ・中高の連携をさらに深める必要がある  |
|          |                                      | 生徒の自主学習を支援する場として、図書館を開館する。 ⑤⑥   | A |   | ・図書を購入費や書架の不足が深刻である   |
|          | 附属中との連携を図る。                          | 中高のバランスに配慮した選書を行う。 ⑳㉑   | A |   | ・中高の連携をさらに深める必要がある  |
|          |                                      | 情報発信や図書の配置・企画等において、中高の連携を強化する。 ⑳㉑   | A |   | ・図書を購入費や書架の不足が深刻である   |
| ICT活用推進室 | 情報教育の環境を整備し、授業でのICT活用を進める。           | 事務室・教科・学年と連携し、ICT環境の整備に取り組む。 ㉒  | A | A | ・Google Education for Plusに関する生徒への情報発信を行う。<br>・生成AIの活用について、 |
|          |                                      | 全学年での一人一台端末を使った授業の開始に合わせ、ICT活用を更に推進し、生徒の学習理解や学習法の改善を図る。 ⑤⑥⑦⑧⑨㉒㉓                       | A |   |   |
|          | 情報モラルに関する意識を                         | 講演会などを通して、情報モラル教育を推進し、情報機器やSNS等の適切な使用についての生徒  | A |   |   |

別紙様式2 (高)

|           |                            |  |   |   |  |                                    |
|-----------|----------------------------|--|---|---|--|------------------------------------|
|           | 高める                        | の意識向上を図る。 ⑩⑪⑫  |   |   |  | 保護者への承諾書を作成したり、ルール作成などの整備を行う必要がある。 |
|           | 情報セキュリティに関する意識を高める。        | 情報セキュリティやウイルス対策等に対する教職員や生徒の意識向上を図る。突発的に起きるトラブル等に対しても対応出来るような用意しておく。 ⑳  | A |   |  |                                    |
|           | 業務の軽減を進める。                 | ワークフローの導入に合わせ、デジタル化を進め、業務の軽減を進める。 ㉑㉒   | B |   |  |                                    |
| 探究学習推進室   | 課題探究活動を推進する。               | 課題探究活動を行うにあたり、大学教員の講義、留学生ワークショップ、海外大学との連携、県内外の他校との交流等を通じて、生徒の興味・探究心を喚起し自ら考えさせる態度を育成する。 ⑬⑭                      | A | A | ・SDG's 学習を通して学んだ問題解決手法を、身近な問題の解決に反映させる探究活動をさらに推進する。<br>・外部の発表会等に積極的に参加することを通して、探究学習を深化させる。 |                                    |
|           | 人的ネットワークの構築を推進する。          | 起業家教育プログラム、海外高校との交流、海外フィールドワーク等を通じて、世界に目を向け、将来活躍するために必要なネットワークを主体的に構築させる態度を育成する。 ⑯⑰                            | A |   |  |                                    |
|           | 幅広い視野を養う活動を推進する。           | 文化講演会、企業・研究所訪問、OBOGガイダンス、進路講演会等を通じ、自らの課題発見とその解決を支援し、幅広い視野を持った生徒を育成する。 ⑮⑯⑰                                      | B |   |  |                                    |
|           | グローバル人材の育成を推進する。           | 学校行事や各種委員会活動等を通じ、自己を確立しつつ、他者を受容し、多様な価値観を持つ人々と共に思考し、協力・協働しながら課題を解決し、新たな価値を生み出しながらグローバル社会に貢献することができる生徒を育成する。 ⑱⑲⑰ | A |   |  |                                    |
| 旧本館学習館統括室 | 自習場所として活用する。               | 進路指導部、各学年、特に第3学年と連携し、自習の場所として相応しい環境を整える。 ⑥   | A | A | ・エアコンの故障はあったが、それ以外の時期は活用は十分にできた。<br>・各行事、会議等の利用は滞りなく行えた。                                   |                                    |
|           | 各種行事に活用する。                 | 学校・学年行事、研修会や会議等による使用予定を把握調整し、学習館の利用を効率的に行う。 ⑥  | A |   |  |                                    |
|           | 旧本館の活用を図る。                 | 旧本館活用委員会と連携し、学習・特別活動や学校行事等の利用について検討し環境を整える。 ⑥⑩   | B |   | ・部活動の活動の場は提供できたが、その他の活動に使う機会は限定的であった。  |                                    |
|           |                            | 学校休業日における地域社会との交流等のための利用について、旧本館活用委員会と検討する。 ⑬⑱   | B |   | ・進修同窓会総会後の見学等の機会は設けたが、それ以外の利用機会は限られていた。  |                                    |
| 第1年次      | 基本的な生活習慣と授業中心の学習スタイルを確立する。 | 挨拶、容儀、時間管理など日々の生活の中で、当たり前のことを指示されることなく、着実に行動することができる力を養う。 ①⑥⑩  | B | A | ・基本的な生活習慣の徹底と能動的な態度の育成。  |                                    |

別紙様式 2 (高)

|      |   |  |   |   |   |
|------|---|--|---|---|---|
|      | 探究型学習を習慣化する。                                      | 授業を中心として、全ての教科・科目において生徒を主体的に参加させる授業を展開する。自ら取り組み考える姿勢を培うとともに、知見と視野を広げ、幅広く教養を身につけ、「志」を实践する礎とする。<br>①⑤⑧⑬                            | A |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な経験を通じた広い視野の獲得。</li> <li>・様々な活動に参加し、責任ある立場として全うする態度の育成</li> <li>・進路意識の更なる醸成</li> </ul>        |
|      | 高い目標を設定し、最後まで挑戦し続ける姿勢の礎を育む。                       | 企業訪問やOB・OGガイダンスなどを通じ、広く社会に目を向け、将来の目標を可能な限り高く設定ができるよう意識を喚起するとともに、自身の知識や経験を社会に還元する意識を醸成しながら、最後まで諦めずに自分の進路を切り開く力を身につける。<br>①③④      | A |   |   |
|      | 社会に貢献する人材としての基盤を育成する。                             | ホームルーム活動や個別面談を通じて、自己認識および他者との相互交流をとおした視野の拡張と、社会のリーダーとしての素養の育成を目指す。<br>①②③⑩⑫  | A |   |   |
|      | すべての学校での活動に積極的に参加し、コミュニケーション能力と多様性の受容および対応力を育成する。 | 委員会や部・同好会の活動に積極的に参加させ、多様性を受容し、思いやりの心を育み、集団内での強いリーダーシップを育成する。<br>③⑩⑪  | B |   |   |
|      |   | 生徒相互の教え合いを活発化させ、知の伝達のネットワーク化を目指す。特に、成績上位者には他者に教える意義をしっかりと伝え、情報発信者として機能させるとともに指導的な立場を経験することによる成長を期待する。<br>③⑤⑥⑨⑭                   | A |   |   |
|      |   | 探究学習を通じ、自ら考え、課題を設定し、問題解決を図ることでコミュニケーション能力の向上、言語化、プレゼンテーション能力の育成を図る。<br>⑬⑭⑮⑯⑰   | A |   |   |
| 第2学年 | 基本的な生活習慣と授業中心の学習スタイルの確立。                          | 挨拶、容儀、時間管理など日々の生活の中で、当たり前のことを高いレベルで実践する。自立し、自律して、行動する力を醸成する。<br>①②③⑤⑥⑩   | A | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・より高いレベルでの凡事徹底</li> <li>・主体的な取り組み、学びの深化と本質への肉薄</li> <li>・自分の考えを他者に伝えることで、錬磨する。</li> </ul>        |
|      | 自立、自走を可能にする知識と教養の獲得。                              | 授業を中心とした学力の養成および興味関心の喚起。自ら課題意識をもち、自調自考し、解決する姿勢を培う。知見と視野を広げ、幅広い教養を身につけて、「志」を实践する礎とする。<br>①②③⑤⑥⑬                                   | A |   |   |
|      | 探究型学習の深化。   | 自調自考し、試行錯誤を繰り返す、問題を解決する学びの習慣をとおした、質の高い自学を促す。<br>⑤⑥⑬⑭⑲⑳   | B |   |   |
|      | 高い目標を設定し、自立し自律する姿勢の涵養                             | 研究室訪問、OB・OG進路講話などの進路行事をとおして、将来の目標を可能な限り高く設定ができるよう意識を喚起する。広く社会に目を向け、自身の知識や経験を社会に還元する意識を醸成しながら、自立し自走により自分の進路を切り開く力を身につける。<br>①②③④⑭ | A |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な経験を自己の飛躍に活かす1年とすることに期待する。</li> <li>・リーダーとしての自覚と行動を促す。</li> <li>・獲得したリーダーシップでの学校牽引</li> </ul> |
|      | 社会に貢献する人材としての基盤醸成。                                | ホームルーム活動や個別面談を通じて、自己認識および他者との相互交流をとおした視野の拡張と、社会のリーダーとしての素養の育成を目指す。<br>①②③⑫   | A |   |   |
|      | 他者との積極的関与と他者受容による、コミュニケーション能                      | 委員会や部・同好会の活動への積極的参加により、多様性を受容し、思いやりの心を育み、集団内での強いリーダーシップを育成する。<br>①③⑩⑪  | A |   |   |

別紙様式 2 (高)

|                      |   |   |   |                         |  |
|----------------------|---|---|---|-------------------------|--|
|                      | 力育成と多様性醸成。  | 生徒相互の教え合い、学び合いにより、知の伝達のネットワーク化。<br>成績上位者に他者に教える意義を理解させ、情報発信者として機能させるとともに指導的な立場を経験することによる飛躍を促す。<br>①③⑦⑧⑬⑭⑲⑳                      | B |                         | ・主体的、対話的な取り組みをとおした自己伸張と自己実現            |
| 第3学年                 | 高い目標を掲げ、その実現に向けて落ち着いた日常生活を送ると共に個が伸びる集団づくりを目指す。                              | 面談を通して、自分の適性を見つめ、目標とする進路実現のために努力を継続する態度と意欲を涵養する。<br>①②⑥⑫  | A | A                       | ・最終学年につき特になし                           |
|                      |   | 集団生活での礼儀と社会的なモラルを意識させ、自らを律する能力を育てる。自分の資質や能力を社会に貢献する方法を探り、共同体における存在意義を感がさせる。<br>③④⑥⑩⑪  | A |                         |  |
|                      | 部活動や委員会活動に主体的に取り組むと共に、学習との両立、そして受験勉強への切り替えを円滑にする。                           | 部活動、一高祭といった学校行事に全力で取り組ませ、一つのことを成し遂げたという達成感をもって人間的成長へと結びつける。<br>③⑩⑲  | A |                         |  |
|                      | 授業第一主義を貫き、目標とする進路実現ができるように支援する。   | 転換期に進学講演会、課外（東大研、医学研）を実施し、高い志をもって取り組む生徒を育てる。<br>①②③⑥⑫⑬⑭   | A |                         |  |
|                      | 部活動や学校行事を通して育まれた友人関係を礎に、互いに教え、啓発し合う関係に発展させ、仲間と共に進路実現を目指す姿勢を育む。              | 学校内の指導だけでも大学受験が完結できる学習環境を提供する。<br>④⑤⑦⑧⑨⑲⑳㉑  | A |                         |  |
|                      |   | 始業前や放課後の学習環境を整え、教室、学習館を学習の中心の場とするよう啓発する。<br>⑤⑥⑦   | A |                         |  |
| 国語                   | 基礎学力の確かな定着を図る。  | 授業、課外を通して、互いに教えあう場面が発生する学習指導を行う。<br>⑤⑥⑦⑧⑨   | A | A                       | ・生徒がより主体的に予習や復習に取り組めるような指導の在り方を模索していく。 |
|                      |   | 課外（東大研、医学研、各種研究会）を通して、クラスの枠を越えた生徒交流を図り、互いに啓発しあう関係を育む。特に、志望校を同じくする生徒同士の集団化を図り、過去問を中心に、互いの長所短所を補完し合う主体的で対話的な学習活動を授業外で築かせる。<br>①③⑥ | A |                         |  |
|                      | 探究型の学習スタイルを目指し、自ら学ぶ力の育成を図る。   | 授業計画を生徒と教員で共有し、主体的な予習・復習の習慣をつける。<br>①③⑤   | A |                         |  |
|                      |   | 小テストへの取り組み等を通して言葉の特徴やきまり及び語彙への関心を高める。<br>⑤⑥   | A |                         |  |
|                      |   | 多様なテキストに触れ、情報の取り扱いに関する知識及び技能を高める。<br>⑤⑥⑬⑭⑮  | A |                         |  |
|                      |   | 幅広く古典に親しみ、伝統的な言語文化に対する理解を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つ。<br>⑤⑬⑭⑮  | A |                         |  |
| 授業デザイン・評価・指導方法を共有する。 | 読書及び教科横断的な共同学習や表現活動を授業に取り入れることで、言語運用能力を総合的に伸ばす。<br>⑥⑬⑭                      | A   |   |                         |  |
|                      | 生徒のニーズに応える特別講座及び学力不振の生徒に対する補講等を実施し、幅広い学力層に対応した指導を行い、生徒一人一人の学力伸張を支援する。<br>②⑥ | B   |   |                         |  |
|                      | 中学校との系統性を考慮したうえで、調査や模擬試験等の分析を行い、分析結果をもとに授業デザイン及び指導法を改善・共有する。<br>⑦⑧⑨⑲        | B   |   | ・高校と附属中の連携を今まで以上に深めていく。 |  |



別紙様式2 (高)

|                             |   |   |   |   |   |
|-----------------------------|---|---|---|---|---|
|                             |   | 単元ごとに授業内容を共有と、考查問題の協議・検討を行い、生徒の学力伸張と的確な学力評価を實踐する。<br>⑦⑧⑨                                      | A |   | ・「書くこと」、「話すこと・聞くこと」に関する指導の充実を図る。  |
|                             |   | ICT機器を活用し、学習者一人一人の学びを深める。<br>⑤⑥⑬⑳   | A |   |   |
| 地歴                          | 世界史の学習を通して、国際社会における日本人のあり方を学び、社会に貢献できる生徒の育成を図る。             | 世界史の通史だけでなく、テーマ史的な観点からも歴史的事象を取り上げ、近現代世界に対する多角的で柔軟なとらえ方を身に付けさせる。<br>⑤⑥⑭                        | A | A | ・国際社会の動向を踏まえながら、日本と世界についての興味・関心を高め、理解を深めさせるような授業を心がける。<br>・思考力、判断力、表現力の涵養を図るため、主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善を行う。<br>・史料・資料を活用する能力の養成を図る。<br>・新教育課程に応じた指導法の研究を深める。 |
|                             |   | 世界各地の文化とその成り立ちを学ぶことにより、我々と異なる文化や考え方を理解・尊重する態度を育成する。<br>③⑤⑥                                    | A |   |   |
|                             |   | 世界史の基礎的な知識を身に付け、それをもとに自ら考える力を育成し、表現する力を養成する。<br>⑤⑬⑭   | B |   |   |
|                             | 我が国の歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察させるとともに歴史を追究する資質を養い、歴史的思考力を培う。 | 各時代の国際環境や地理的条件などと関連付け、世界の中の日本という視点で考察させる。<br>⑤⑥⑨⑭   | A |   |   |
|                             |   | 地域社会の歴史と文化を扱うことにより、郷土に対する関心を高め、愛する心を育てる。<br>③⑤⑬⑭  | A |   |   |
|                             |   | 基礎的知識や史料を解読する力をもとに、論述することを通じて、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。<br>⑤⑥⑭                                      | A |   |   |
|                             | 現代世界で発生する種々の事象に対し、自ら考える姿勢を養うとともに地理的な見方・考え方の育成を図る。           | 系統的な学習を通して基本的な知識の定着を図り、地誌的な学習を通して興味・関心を持って具体的に現代世界を考察する態度を養う。<br>①⑤⑥                          | A |   |   |
|                             |   | 授業進度の適切な時期を考慮して、調査や作業学習を体験することで地理的な技能を養う。<br>⑤⑬⑭  | A |   |   |
|                             |   | 3年次では大学入試に対応した論理的な思考力や表現力を育成する。<br>⑤⑥⑬⑭   | A |   |   |
|                             | 授業デザイン・評価・指導方法を改善する。  | 中学校との系統性を考慮したうえで、考查や模擬試験等の分析結果を活かして授業をデザインする。<br>⑦⑧⑨⑳   | A |   |   |
| ICT機器を活用し、学習者の学びを深める。<br>㉒㉓ |   | A   |   |   |   |
| 公民                          | 人間と社会の在り方についての見方・考え方の理解を深め、現代の諸課題を追究・解決する姿勢と能力を養う。          | 公共で必要とされる基礎的知識を身に付け、それをもとに諸問題に対して自ら考える態度を育成する。<br>⑤⑥⑭   | A | A | ・時事的な話題を常に取りあげ、興味・関心を高める工夫を心がける。<br>・主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善を行う。<br>・新教育課程に応じた指導  |
|                             |   | 公共的な空間と人間的な関わり、個人の尊厳と自主・自立、人間と社会の多様性と共通性、人間としてのありかた・生き方についての理解と思索を深めさせる。<br>③⑭                | A |   |   |
|                             | 政治・経済・国際関係などを客観的に理解し、関心を持って考察する態度を育成する。                     | 民主主義の本質に関する理解を深め、現代社会における政治・経済・国際関係などについて理解させ、基礎的な知識を身に付けさせるとともに、それらについて主体的にとらえ、考えさせる。<br>⑤⑥⑭ | A |   |   |

別紙様式2 (高)

|    |  |  |   |   |   |
|----|--|--|---|---|---|
|    | 授業デザイン・評価・指導方法を改善する。   | 中学校との系統性を考慮したうえで、考査や模擬試験等の分析結果を活かして授業をデザインする。<br>⑦⑧⑨⑳  | B |   | 法の研究を深める。   |
|    |  | ICT機器を活用し、学習者の学びを深める。<br>㉑㉒  | A |   |   |
| 数学 | 生徒の発達段階に応じた質の高い授業を展開するよう授業改善する。  | 綿密な授業計画表を作成し、進度計画表を生徒に配布することで生徒の学習を促すとともに、それぞれの学年の方策に従って基礎学力の定着を図る。<br>⑤⑥⑦   | A | A | ・内進生と高入生との進度の調整をどのように図っていくかは引き続き検討していく必要がある。<br>・生徒がより自律的に授業の予習や復習に取り組めるような指導の在り方を研究していく。                   |
|    |  | 授業を中心に据えた学習計画を生徒に立てさせ、授業を重視しながら「予習→授業→復習」の学習習慣に基づいた日常の自己学習を徹底させる。<br>⑤⑥⑦   | B |   |   |
|    |  | 科目担当者の連携を密にし、授業の進度や定着度合いの確認・分析を行い、学習指導に活かす。<br>⑤⑥⑦⑧⑨   | A |   |   |
|    |  | 基本事項の理解を徹底させると共に、試験前等の問題演習を十分に行う。<br>⑤⑥  | A |   |   |
|    |  | 授業内容や生徒の習熟度に応じた教材・問題等を協議検討して、その結果を学習指導に活かす。<br>⑤⑥⑦   | A |   |   |
|    |  | 3学年の生徒には、基本事項を整理し、発展的な応用力の養成と定着に努め、難関大学に合格できるための思考力を養う。<br>①②③⑥  | A |   |   |
|    |  | 進学目標別の対策を研究するためのガイダンスや課外を実施する。<br>①②③⑥   | A |   |   |
| 理科 | 自然に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てる。   | 授業展開の中で、生徒の興味・探究心を喚起する実験・観察教材の研究と工夫に努め、考察への展開を工夫改善すると共に発展的な内容や話題について提供する。<br>⑤⑥⑦⑧  | A | A | ・観察や実験を通して、「思考・判断・表現」の向上に向けた教科指導の一層の充実を図る。<br>・新学習指導要領や共通テストへの指導方法についての研究を充実させ、3年間を通じた継続的な指導の流れを研究し、改善していく。 |
|    |  | 単元毎の観察・実験を行い、観察・実験に積極的に取り組ませ、現象を見る目や探究心を養う。また、その内容についてのレポートの作成や発表を通して、学力の定着を図るとともに科学的な思考力を養う。外部講師による「科学実験講座」を実施し、発展的内容に触れさせることで科学的探求心を育てる。<br>①②⑤⑬ | B |   |   |
|    | 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。<br>基礎学力を充実させ、3年においては、特に生徒の進路を考慮して応用力の養成を図る。                     | 授業で履修する事柄が自然や生活の中の仕組みにどのように関わっているかを取り上げることにより、科学を学ぶ楽しみや科学的な姿勢を育成し、科学的現象に対する学習意欲を高める。<br>⑤⑨   | A |   |   |
|    | 授業内容や生徒の習熟度に応じた教材・問題等を協議検討して、その結果を学習指導に生かす。<br>演習問題等を精選し、授業や添削指導などを通して、基礎学力を確実に定着させる指導を行う。<br>⑦⑧ | A  |   |   |   |
|    | 指導法や評価を研究し、授業改善を図る。  | 3学年の生徒には、基礎学力定着の確認を行うとともに、発展的な応用力の養成と定着に努める。良質な演習問題や試験問題の作問に努め、高いレベルの学力や思考力を育成し、最難関大学の受験へ対応できるようにする。<br>⑦⑧⑨  | A |   |   |

別紙様式 2 (高)

|  |   |  |   |   |   |
|--|---|--|---|---|---|
|  |   | ICT の利活用や評価の改善、指導法や授業展開の研究をし、生徒の科学的に探究する能力や科学的な思考力・判断力・表現力を伸長できる授業をデザインする。<br>⑦⑧②③   | A |   |   |
| 保健体育   | 運動や学習を通して、協調性を高め、仲間との関わりの中でそれぞれの力を伸ばす意識を持たせるように指導する。                        | 集団種目を多く取り入れることにより、仲間と協力・連携して活動する態度や、役割を積極的にき受け自己の責任を果たそうとする態度を育成する。<br>①③⑤⑥⑪         | A | A | 概ね達成できた。<br><br>次年度の課題としては<br>・Wi-Fi 環境の整備<br>・さらなるドリル・タスクゲームの開発<br>・軽微な怪我を防ぐ準備運動のさらなる充実が挙げられる。 |
|  |   | 保健において、自分の身体への理解を深めて命の大切さに気づき、自己愛や他者への思いやりの心が育つように指導する。<br>①③⑨⑩⑪                     | A |   |   |
|  | 運動の実践を通して、体力の向上、困難なことにも立ち向かう態度や能力を育成する。                                     | 苦手なことにも取り組みやすいように指導方法を工夫しながら、主体的に学ぶ態度や思考判断表現の評価につなげるなど、生徒の内面が成長できるような働きかけをする。<br>⑤⑥⑦ | A |   |   |
|  |   | 個人スキル向上のために、ドリルや発問の仕方を工夫し、発展したゲームが展開できる力をつける指導を行う。<br>⑤⑥⑦⑧⑨                          | B |   |   |
|  | 運動・スポーツ活動における健康・安全指導を充実させる。   | 熱中症対策、用具の使用法、準備運動等の心身にケアなど、毎回の注意喚起と観察を徹底する。<br>⑤⑥⑩                                   | A |   |   |
|  |   | 健康、安全に関する知識と自己管理能力を育成する。<br>⑤⑥⑩  | B |   |   |
| よりよい授業を行うために教科内でスライドの共有や、チームティーチングを行う。   | 保健の授業で使用するスライドを共有し、改善を図る。<br>⑤⑥⑦⑧⑨  | A  |   |   |   |
|  | 体育の授業では教員間で意見を出し合いながら計画的に授業を行う。<br>⑤⑥⑦⑧⑨                                    | A  |   |   |   |
| 芸術   | 豊かで幅の広い芸術活動と、音楽と美術のとのそれぞれの視点で作品と向き合い、日常に於いては、芸術文化に親しむことが出来る資質と能力を育成する授業を行う。 | 社会の情勢や生徒の実態に沿った課題選択を行い、個性や感性を尊重した個々のレベルでの指導を充実させる。<br>①⑤⑨⑫                           | A | A | ・中高一貫教育を見通した題材設定や指導方法の研究を行う。<br>・互いに刺激しあいながら、協働できる活動内容を吟味する。                                    |
|  |   | 新学習指導要領に則り、6年間の中高一貫教育を見通しながら、生徒の発達段階を考慮した教材や授業内容及び指導方法を創意工夫改善する。<br>⑤⑥⑦⑧⑮⑰⑳          | B |   |   |
|  | 生涯学習の礎となるような芸術作品に向き合える心と豊かな情操のセンスの成長の後押しとなる。                                | 表現活動では生徒の主体的な意見や希望を尊重し、鑑賞では感受性を豊かに、想ったことや感じたことを素直に共有できる関係性を育て、芸術の諸能力の向上を図る。<br>⑤⑥⑨⑪⑬ | A |   |   |
| 自己表現の意図を他者に分かりやすく伝える発表の能力やコミュニケーション能力を向上させる。自分の納得できる完成度に対しての情熱や点数では表現できない困難なことに向き合うことでの人間的な成長を見守る。<br>④⑤⑥⑨⑪⑮ |   | A  |   |   |   |
| 家庭   | 自立した生活者に必要な基礎的・基本的な知識と技能を   | 実験や実習、観察や調査などの実践的・体験的な学習活動を計画的に実施する。<br>③⑤⑥  | A | A | ・電子黒板やモニターを導入し、家庭科教室の ICT 環   |

別紙様式 2 (高)

|              |   |   |   |   |  |
|--------------|---|---|---|---|--|
|              | 育成する。   | 基礎的・基本的な知識と技能を問う試験を計画的に実施する。 ③⑤⑥  | A |   | 境を整備して、生徒が ICT を効果的に活用できるようにする。<br>・授業用教材の購入などで家庭科教室の環境を整備し、生徒が安全かつ効率的に実験・実習できるようにする。                              |
|              | 生涯を見通し、世界に目を向け、生活上の課題を解決するための実践力を育成する。                | 生徒が ICT を活用しながら主体的・対話的に学習する場面を効果的に設定する。 ③⑤②   | B |   |  |
|              | 様々な人々と協働し、生活を主体的に創造しようとする態度を育成する。                     | 生徒が考察したことを科学的な根拠や理由を明確にして論理的に表現する場面を効果的に設定する。 ③⑬  | A |   |  |
|              |   | 生徒が家族や地域社会の方々や協働し、家庭や地域社会をより良くするための活動を主体的に実践できるような環境を整える。 ③⑤⑬⑰⑱                               | A |   |  |
| 情報           | 課題設定や課題解決のための思考力を養う。                                  | 課題探究活動と連携し、情報技術の有用性を理解させながら、実際に課題設定と解決方法を探る活動を通し、必要とされる思考力を養う。 ⑤⑥⑭                            | A | A | 共通テスト平均85点における具体的な策を講じていく。<br>プレゼンテーションに関しては、他教科や探究の発表に任せてしまったので、今後は情報の授業内でも行っていく。                                 |
|              |   | アルゴリズムを表現し、プログラミングの基礎を学習することを通して、論理的な思考力を育成する。 ⑤⑥   | A |   |  |
|              | 情報社会において適切に活用できる ICT 技術を養う。                           | ワープロ、表計算ソフト、パワーポイントを活用した課題研究と各種発表会を通して、情報の伝達力を育成する。 ⑤⑥  | A |   |  |
|              |   | 情報やメディアの特性を理解し、情報セキュリティや情報モラルの重要性をより実感出来るような題材を適宜選択し、生徒の素養を育成する。 ⑥⑦                           | A |   |  |
|              | 情報技術を用いた効果的なコミュニケーション能力を養う。                           | オンラインでのプレゼンテーションや質疑応答を通して、効果的なコミュニケーションを図るための情報技術、情報デザインを実際に活用し、自らのコミュニケーション能力向上を目指す態度を養う。 ⑤⑭ | B |   |  |
| 積極的に授業改善を行う。 | 生徒のスキル向上を可能にする授業改善を行う。 ⑦⑧⑨                            | A   |   |   |  |
| 英語           | 英語科全体の目標<br>分かりやすい授業へ授業改善し、実践的コミュニケーション能力を養う          | 教材研究を深めて、生徒の知的好奇心を刺激し、充実感のある、分かりやすい授業を展開する。 ⑤⑥⑧   | A | A | ・ICT ツールを活用する一方で、紙と鉛筆を用いた伝統的な指導法とのバランスにも細心の注意を払う。<br><br>・サイドリーダーの内容を吟味しアップデート化をはかる。<br><br>・十分な休養を取り、心身共に健康に留意する。 |
|              |   | 英語を通し、将来国際社会で活躍する日本人として必要となる、国内外の文化・社会の諸側面についての理解を深められるように題材の扱い方を工夫する。 ⑤⑥                     | A |   |  |
|              |   | 読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく伸長できるような授業を展開する。 ⑤⑥⑦⑧   | A |   |  |
|              | 第1学年の目標<br>積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、英語の確かな基礎力を養う。 | 授業を中心に予習復習の徹底を図り、自立した学習の援助をする。 ⑤⑥   | A |   |  |
|              |   | 語彙力を向上させるテストを学年を通して実施する。 ⑤⑥   | A |   |  |
|              |   | 英語に親しめるサイドリーダーを選択・活用して、読解力の基礎の育成を図る。 ⑤⑥⑦  | A |   |  |
|              |   | 辞書指導の充実等によって、自立した学習力の育成を図る。 ⑤⑥  | B |   |  |
|              | 第2学年の目標   | 授業内にペアワークを頻繁に取り入れ、実践的コミュニケーション能力の向上を図る。 ⑤⑥  | A |   |  |
|              | 第1学年で培った生徒の英語力を踏まえ、個々の生徒の英語運用能力を伸ばす授業を展開する。 ⑥⑦⑧       | A   |   |   |  |

別紙様式2 (高)

|   |   |      |   |  |
|---|---|------|---|--|
| 第1学年で培った英語の基礎力をさらに伸長させ、確かな英語力を養う。               | 表現力を高めるための文法・語法確認小テストを継続実施する。             | ⑥    | A |  |
|   | 文法的に正確であり、論理的な英文が書ける力を養う授業を展開する。          | ⑤    | A |  |
|   | 英語による自己表現を促すことで、世界的な視野を持つ人材の育成を図る。        | ⑤⑥   | A |  |
|   | 知的好奇心を刺激するようなサイドリーダーを選択・活用して、読解力の向上を図る。   | ⑤⑥⑦  | A |  |
| 第3学年の目標<br>生徒の進路希望実現のために、難関大学入試に対応できる確かな実践力を養う。 | 第1、2学年で培った英語力を踏まえ、ゆるぎない英語力を完成させる。         | ⑤⑥⑦  | A |  |
|   | 大学入試問題を研究し、生徒の進路希望に即した考查を実施する。            | ⑤⑥⑦⑧ | A |  |
|   | 国公立大学個別学力試験に対応できるような英文要約や英作文等の個別指導を充実させる。 | ⑤⑦⑧  | A |  |

※ 評価規準：A：目標が十分達成された B：ある程度の成果が見られた C：取り組んだ D：取り組んだが課題を残した E：取り組まなかった